

Book 54 ダンス講習会



8月3日午後、杉並区のホールにおいて Book 54 ダンス の講習会が行われ、講師トム鳥山さん・ピアノ青山るりさんの指導で40名の参加者が18ダンス中9ダンスを講習しました。酷暑の午後、参加していただいたみなさんにお礼申し上げます。

ブランチ・クラス

千代田区立スポーツセンター多目的室
 9月7日(日) 1:30-4:00 pm 講師 トム 鳥山
 (テーマ: Book 54 の未講習ダンス)
 10月5日(日) 1:30-4:00 pm 講師 浅井 恵子
 11月は秋のダンス会のため休みます。
 お問い合わせ: 担当 細海 修 03-3909-2908

秋のダンス会

11月1日(土) 1-4.30 pm (受付0:30 から)
 会場: 委員にお問合せを
 (女性更衣室あり)
 ￥2,000
 大森ヒデノリ (フィドル)・小海弘子 (ピアノ)
 プログラムは同封のチラシをご覧ください

2025 年度運営委員

| | | |
|-----------|---------------------------------|---------------|
| チェア | 境 雅子 | 050-1226-8937 |
| セクレタリ | 西森 典子 | 043-485-2528 |
| | bon_accord417@amail.plala.or.jp | |
| トレジャラ | 小杉 由美子 | 047-486-8520 |
| クラス担当 | 細海 修 | 03-3909-2908 |
| ショップ担当 | 渋谷 明美 | 047-351-8581 |
| メンバーシップセク | トム 鳥山 | 044-577-5231 |

ブランチ行事予定

1月18日(日) New Year Dance 2026
 会場: 委員にお問合せを
 ￥2,000
 大森ヒデノリ (フィドル)・青山るり (ピアノ)

小幡正明さんに東京ブランチ賞



小幡さんに境チェアから贈呈

小幡正明さんは1960年代後半にスコティッシュ・カントリー・ダンシングを始められ、70年代にグループ「サークル東中野」を立ち上げました。1984年の東京ブランチ創立者の一人で、初代セクレタリをつとめ、その後チェアマン、トレジャラ、運営委員を歴任し、ブランチ活動に大いに貢献されました。1997年にティーチャー資格をとられてグループ、ブランチで指導するほか、たくさんのダンスを創作され、ヒュー・フォスが主催する新ダンス紹介シートに採用されたこともあります。SCD音楽にも詳しく、かつて東京ブランチ New Year Dance Band でも演奏されました。これからはブランチ活動に対する助言・批評をお願い申し上げます。

2026年度から会費値上げ

郵便料金および諸物価値上がりのため、2026年度からブランチ会費は次のとおりになります。

通常（紙版）会員 ￥2,800（現行￥2,500）
メール会員 ￥1,800（現行￥1,700）

運営委員会報告

2025.6.6（港区生涯学習センター。以下同じ）

- ・委員会の三役およびメンバーシップセクレタリは留任とし、ショップ担当は渋谷明美、クラス担当は細海修とした。



左から、トム鳥山・境雅子・小杉由美子・西森典子・渋谷明美・細海修

- ・年次総会の出席者減少の対処は今後の課題。ソーシャル・ダンスの曲数12は少し減らした方がよいのではないか。
- ・情報授受はすべてセクレタリに一元化することを再確認した。
- ・本部情報（専従者2名の退職）およびBook 54関係の受注状況を確認。
- ・8月24日の3ブランチ三役会議で、わがブランチとして発議する案件はいまのところない。

2025.7.4

- ・8月末の3ブランチ会議で今後のマガジン翻訳の見通しが話し合われるが、東京ブランチとしては今のところ従来とおりでよいと思う。
- ・秋のダンス会のプログラムを決定し、MC候補を話し合った。
- ・7月からホームページ管理人が交替する。新管理人の考えを8月3日、Book 54講習会の開始前に聞く。
- ・日本フォークダンス連盟主催のFD指導者対象のクラヅクリ講習会は講師境雅子チェアで6月末に終了した。
- ・今後の行事会場候補に船橋駅前のきららホールはどうかの提案あり。使用条件などを調べる。

2025.8.1

- ・Book 54ダンス講習会の準備を確認した。
- ・秋のダンス会のプログラムを決定した。
- ・会報No.42に誤記あり、ブランチレターに訂正文を載せる。委員会で確認作業を強化する。
- ・本部は2026年4月/5月にInternational Day of Dance開催の意向。内容不詳だが、会場予約を進める。
- ・鳥山委員からサマースクール第1週の感想報告あり。40名のチャレンジクラス以外は初心者が多かった、食事品質の低下ありという、という。
- ・船橋きららホールの利用条件について報告あり。1年前に予約要だが、会場候補の一つにできる。
- ・Book 54とCDは7月25日に発送完。

ブランチ会報No.42の訂正

- p.13 東京ブランチ賞受賞者
菊地 孝 → 菊池 孝
- p.22 Clement 篤子 1993 → 1983
同 原田秀子 2001 Ontario →
2000 St Andrews
同 神倉那智子 2000 St Andrews →
2000 Ontario
同 追記：吉田ひろみ 2013 Tokyo
- p.24 #11 東京スコットランドダンスを楽しむ会
辰巳由利子 → 佐藤仁美
hitomisato@helen.ocn.ne.jp
- p.24 #16 富谷佐千子の後ろに
s1038fiddle@gmail.com を追記

Kurazukuri、日本 FD 連盟の講習曲に

公益社団法人日本フォークダンス連盟（日連）は 2025 年夏の講習曲の一つに、Kurazukuri クラヅクリを選定しました。Kurazukuri は星野薫さんが創作した 40 bars strathspey for 3 couples in 3-couple set で、東京ブランチ 10 周年記念コレクションに収められています。東京ブランチは日連の依頼により、東京代々木のオリンピック・センターにおいてデモンストレーション・ビデオの出演（5 月 2 日）ならびに全国 FD 指導者講習会における指導（6 月 30 日）を行いました。

ビデオ撮影体験記－Kurazukuri はこうしてフォーク・ダンサーに 西森典子

日本フォークダンス連盟から、今年の講習曲のビデオ制作にスコティッシュ・カントリー・ダンスの Kurazukuri（クラヅクリ）のデモンストレーション出演依頼が東京ブランチ委員会に来たのは 2 月、SCD の普及のためと、承諾の返事をしました。

デモンストレーション・チームは、いつも踊り合わせができるダンサーがいるということで、船橋グループに決まり、船橋グループは、誰でも踊ることができるよう、例会でときおり取り入れて、一つのイベントを皆で共有して静かに盛り上がっていきました。（日連が講習会を終えるまでは、内密にということでしたので）

今回はティーチャー 5 名とデモ初体験の会員 1 名加えた 6 人のチームは、ダンス練習以外に、使用される音楽のコードに合わせてカートシーのタイミングを練習したり、コスチュームは何にするか他の会員と一緒に考えたりで、会員全員でこのイベントを楽しんでもいました。



並行して、日連の事務局の担当者とは、メールで何度も打合せをしていきました。おもに解説書のチェックで、解説に目を通して、フォークダンスとスコティッシュ・カントリー・ダンスの違いを大いに感じました。講習会で指導される境さんと相談しながら、修正案をだして取り入れてもらいました。

いよいよ 5 月 2 日当日、コスチュームに着替えて撮影場所に入ると、思ったより大勢のスタッフが待機して、カメラが二か所ありました。私たちが立つ位置の中心に目安のテープが床に貼ってありました。（床を見て踊ることはないけれどね、と、誰かの声が聞こえて

来ました）

隅っこでストレッチをし、笑顔でね、と声かけあったり、パートナーと合わせるタイミングの確認をしたりして、とうとう撮影開始時間となりました。

まず、何度か取り直ししながら、音楽でのダンシングは一応終わり、しばし休憩。



次はステップの説明のための撮影で、モデルは小杉由美子さん、音楽はなしで、ナレーターの奇妙な掛け声（さんはい、1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8）でのストラスペイ・トラベリング・ステップやセッティング・ステップを、きれいにアーチをいれたステップからサードポジションのクローズで静止、少し間をおいてステップ・ホップと、細かく切った動きを要求され、勢いをそがれ、バランスとるのが大変そうでした。何度もやるうちに、さすが由美子さん、要領をつかんで撮影は進んでいきました。

第三段階は、ナレーターの説明後、踊るのですが、これも音楽なしで、ゆっくりしたカウントに合わせてステップをするので、結構きつかったです。まず 2 小節とか 4 小節の動きを細切れにステップで動き、最後 8 小節を通して踊ることを、1 番から 4 番という区切りで行いましたが、終盤は疲れてミスも多くなり、撮り直しが続きました。一番時間を費やしました。

やっと 4 番目の部分踊りのナレーターの声に、あともうひと頑張り、と、悲鳴を上げていた足に言い聞かせ、やっと撮影が終了した時のうれしかったこと。

そのあと、もう一度音楽に合わせて通して踊らせてもらいましたが、さて、どの部分が採用されるでしょうか。こちらの方が笑顔で楽しんでいるのではないかしら。編集力に期待しています。

私自身委員会の一員ですが、委員会に船橋グループを推してもらえて感謝しています。大勢の方がより良いビデオ作られている本気の現場に立ち会えたことも貴重な体験でした

残念ながら足の調子が悪いまま当日を迎えた私ですが、ステップが完全でなくても、正しいフレージング、揃えるところは揃えて、チームワークで踊ることができるのが、スコティッシュ・カントリー・ダンスであると感じました。このスコティッシュ・カントリー・ダンスの良さが、多くのフォーク・ダンサーに届きますように。

反省点はありますが、上手くいったことも、失敗したことも、また楽しい思い出の一つなることでしょう。

一緒に踊ってくれた仲間、ありがとう！ 応援してくれた仲間も、ありがとう！

出演者の声

- ▷ いつもこの仲間と踊っているというのが、フォークダンスの友人たちに見てもらうのは楽しみです。スタッフの皆様のご苦労が、少しでもわかり、良い経験ができたと思います。(T.H.)
- ▷ 「本番前 5,4,3…」会場に響き渡る女性の声が、私の頭の中で未だに響いています。初めての経験で緊張しました。細かい修正箇所がいくつかあったのですが、その中に中心からのサイドラインの片寄りというのがあるって、目印を決めて動くようにしました。足の短い私は、セット&リンクで次の場所を目指して必死にロングステップしました。疲れましたがいい経験をさせてもらいました。(A.S.)
- ▷ 今回クラヅクリのビデオ撮影が代々木の立派な体育館で行われました。フィドルと太鼓の掛け合いが楽しい日本テイストの曲ですが、私は数日前から緊張してコチコチになっていて、「常に笑顔で、とにかく音楽を楽しんで」という篤子さんのコメントを思い出すものの、顔も脚もこわばったままでした。基本のステップや手の動き、立ち位置などあらためて反省ばかりの日でしたが、大変良い経験をさせていただきました。(Y.K.)

2025 年度フォークダンス指導者夏期講師事前研修会 ビデオ撮影と講習曲指導 境 雅子

2024 年 12 月初めに日本フォークダンス連盟(日連)の事務局の藪本秀紀さんから、東京ブランチ 10 周年の記念ダンス「KURAZUKURI」を日連の今年のサマードダンスとして使用したいとの連絡を受け、役員と話し合いダンス使用の承諾をしました。

「KURAZUKURI」の資料は吉田ひろみさん、音楽は佐藤仁美さんから日連に提出して頂きました。

日連からはデモンストレーションのビデオ撮り(5/2)と 6/29.30 の指導依頼があり、ビデオ撮りの方は船橋グループの方々にお願ひし、指導は境が担当しました。(ビデオ撮りは西森典子さん記)

先ず最初に「KURAZUKURI」の資料作りから始めました。

SD の資料を FD 用に作り直すのは勝手も判らず、佐藤仁美さんに資料のたたき台を作って頂き、西森さんと「KURAZUKURI」の資料を作っていました。

SD と FD はカウントの仕方やダイアグラムの男女の記号が反対(男性□-女性○)なので、そこは SD の記号で表現できるように日連に頼みました。

西森さんも書かれているように、bars ではなく呼間(1bar-4 呼間)なので頭の中での計算がわからなくなりました。

ビデオでのダンスの紹介文も RSCDS を入れるか東京ブランチのみにするかとかチェアを代表と言い換えるのかとか、今まで普通に使っていた言葉を再確認することができました。(日連の方から女性なのでチェアと呼ぶのですかと質問がありました)



(写真提供：日連 藪本秀紀氏)

会場はビデオ撮りと同じ国立オリンピック記念青少年センターの今回は 1 階の広い体育館でした。6 月 29 日は講師事前研修会の事前練習。

日連の役員の方の練習会が 18:30~18:50 までの 20 分間割り当てられました。

初めての経験と知合いがいない心細さがありましたが、役員方々はとても親切に接して頂きました。

カウントも SD の one-two-three で指導しましたが、戸惑うことなく動いて頂き、音楽で 2 回踊ってその日は終わりました。

6 月 30 日は全国から 110 人余りの FD の講師の方々が集まり、サマー事前研修会が朝 9:20 から始めました。

SD の指導は午後からでしたので、私は間に合うように家を出ました。

オリンピック・センターの広い体育館は冷房がとてもよく効いていました。

「KURAZUKURI」の指導は12:40～13:25迄の45分間。

午前中にダンサーの方々はフランス、ルーマニア、スロベニアのダンスを研修されていましたが、午後も見学者無しでSD、アメリカ、ポーランドと休みなく踊られていました。

一緒に踊りませんかと誘われましたが、踊れないのでロビーで復習タイム迄待機。

2時間近く待機していたら身体が冷え切って、外気温度33℃以上のコーヒーテラスでホット珈琲を飲み身体を温めました。

復習時間20分でback to backを少し注意して踊ったら、とてもきれいに揃ったダンスになり、とても気持ちいいダンスになりました。

日連でのビデオから、指導までの体験は私にとってとても素晴らしい経験になりました。

協力して頂いた日連の役員の方々、佐藤仁美さん、船橋グループの皆さん、ありがとうございました。

クラスで踊られたダンス

5月18日 長峯 真弓

| | | |
|--------------------|-----|----------------|
| Broadford Bay | 32R | RSCDS Leaflet |
| Moments in Time | 32S | Imperial 4 & 5 |
| Whirlwind Affaires | 32S | Landon |
| Stanford Swing | 40J | McMurtry |

7月6日 寺久保 ヒロ子

| | | |
|-----------------------|-----|-----------|
| The Yorkshire Rose | 32J | Book 54 |
| Dancing Forth | 32R | " |
| Dancing in Perthshire | 32S | " |
| Mark and Susie's Jig | 32J | " |
| We'll Meet Again | 32S | Priestley |

有田典和さんに聞く

東京ブランチが発足する十数年前から、深雪夫人とともに岐阜でSCD活動を始められたのが有田典和さんです。ブランチ唯一のRSCDS終身会員であり、2012～13年度はチェアマンとして30周年記念行事を大成功に収め、現在も週4回ほど岐阜のクラスで指導を続けておられます。ブランチは2014年度に有田典和さんに東京ブランチ賞を贈呈しています。(聞き手：トム鳥山)

お生まれと育ちはどちらですか？

岐阜市生まれの岐阜市育ちです。ここを離れることはありませんでした。

学業を終えられてからずっと各務原（かがみがはら）市の川崎重工にお勤めでしたか？

そうです。自宅からJR高山線で30分くらいですね。私は生産技術部に在籍して、航空機・宇宙機器の組立て治工具の設計をやっていました。

JAXAのロケット開発にも関わられていたとか。



はい、ロケット先端の衛星をカバーするフェアリングというのがあるのですが、試験体と実機製作に携わりました。NシリーズのロケットからH-IIロケットまでやりました。

SCDを始めたいきさつ、そしてそれはいつごろのことでした

か？

1967年に東芝からジミー・シャンドのレコードが出たわけですが、69年に池間博之先生が岐阜にお越しになり、レコードにちなむダンスを指導していただきました。70年に岩手の菊池孝さんがセント・アンドルーズに行き、菊池さんからも講習をうけました。菊池さんは3年ほど前に亡くなりましたが、尊敬できる兄のような存在で、毎年岐阜にお越しいただくなど、長く親交が続きました。

SCDの魅力はどこにあると思いますか？

初対面でも一緒に踊ることで旧知の仲のような関係（フレンドリー）になれることでしょうか。ダンスとマッチした音楽に巡り会った時は気分が高揚します。

池間先生のお宅にもお邪魔されたとか。

先生のお宅ではボストンでのSCD体験やミス・ミリガンとの出会いを語られ、SCDへの深い情熱を感じました。岐阜へもお立ち寄りくださり、親しくお付き合いさせていただきました。92年に資格試験の受験をする際には、先生に推薦状をお願いしました。

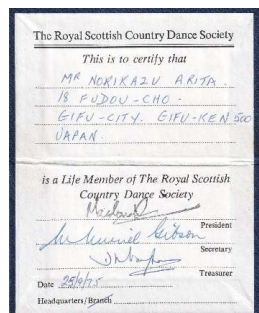
1975年のビル・クレメントさん講習の思い出はいかがでしょうか。

大勢の人が参加し、代々木オリンピック・センターで

ステップ、ダンシングを習いました。ステップ練習に興味があり有意義な講習でした。パイプ演奏も素晴らしかった。

東京ランチができる前から本部終身会員になっておられますが。

当時 RSCDS 本部会員制度には、年次・長期・終身の3区分がありました。発足当時から SCD とフォークダンスを踊っていましたが、70 年を境に SCD への関心がより強くなり、SCD のみのクラブに軸足を移すことを決心し、1975 年に終身会員となりました。



1975.9.25 付 終身会員証
ミス・ギブソンの署名あり

1994 年にセント・アンドルーズでフル資格をとられたわけですが、そのときのエピソードなどはいかがでしょう。

92 年に予備試験があり、チューターがエルマ・マコーランド、16 人のクラスでした。始まって間もなく足の故障とか、クラスについていけないという人がつぎつぎに現れ、結局 9 人が受験し、9 人とも合格しました。その 2 年後、フル試験クラスに臨んだらその 9 人がそろっているではないですか。これ以上ないくらいにクラスはまとまりましたね。チューターはアレックス・グレイ、指導試験の課題曲はたしか Ladies' Fancy でした。クラスメートに、いま本部会員サービス委員会の委員長となったジェレミー・ヒルや、Cape Town Wedding の作者であるトム・カーがいました。

ヤンガーホールで何回もデモされましたね。

はい。99 年 Royal Deeside Railway、08 年 Minister on the Loch、10 年 Bonnie Tree、12 年 Speirs Bruce, The Pole Star でした。(編集者注：SCD Database のビデオで、ヤンガーホールで Minister on the Loch、Bonnie Tree、Speirs Bruce, The Pole Star をデモしている有田さんの姿が見られる。)

2007 年はマンスフィールド卿が本部プレジデントを引退した年ですが、このとき記念に The Earl of Mansfield を DVD 撮りすることになり、マンスフィールド卿のスクーン・パレスの庭園で収録しました。監

督はブルース・フレイザーでした。

スコットランドのほかに各国のウィークエンドに参加されました。

TAC のトロント、ショウニガンレイク、シャープルックなどのサマースクールに参加しました。ニュージーランドではネルソンやクライストチャーチのサマース

クールに行きました。

ネルソンでは、「RSCDS の行事よりもこちらの方が楽しい」というロンドンの歯科医師イアン（イーリアン・パイプの名手）に出会って面白かったですね。帰路、ネルソン空港で警備員に呼び止められました。前にデトロイトで不愉快な経験があったも



2001 年 11 月 トロントの
ロイヤル・ヨーク・ホテル

のですから、何事かと固まりました。そしたら警備員、笑顔になって握手を求めてきました。私のキルト姿がかでかと地元紙に載っていたのですね。

1996 年には南カリフォルニアでジョン・ドゥルーリとミュリエル・ジョンストンに会いました。

東京ランチおよび日本の SCD 界に望むことは？

若い人に入ってきてほしいですね。インスタグラムや SNS を活用して世間に広報してほしいです。東京ランチは会員数が減っても落ち込むことなく、日本最初のランチとしての誇りを持ち続けてほしいと思います。

これだけは話しておきたいということがありますか？

SCD を通じ国内外に多くの仲間が増えました。言葉の壁・技術の差があっても、相手への心遣いがあればさらに多くの仲間が増えると思います。

お気に入りのダンスは何ですか？

Anna Holden's Strathspey です。南カリフォルニアでミュリエル・ジョンストンの演奏で踊ったのですが、筆舌に尽くしがたい、すばらしい演奏でした。

Crieff Fair – RSCDS Book 10
Duke of Perth – RSCDS Book 1

今回の2つのダンスにはつながりがある。Crieff Fair (R24-3C) はダンスの人気投票にはまったく登場せず、多くの人たちは踊ったことのないダンスである。

一方、Duke of Perth はもっとも人気のあるダンスの1つで、ほとんどのダンサーがしょっちゅう踊っている。カントリー・ダンス界を越えて各種のダンス会プログラムにも現れ、トラディショナルなダンス文化の一部になっている。

クリーフのフェア（交易市）

クリーフの町（パースの西 25km）が文献に表れるのは 12 世紀からで、1218 年に自治が与えられた。歴史的にスコットランドでは多くの場所で交易市が開かれていたが、牛の取引場所はそれほど多くなく、比較的小規模なものであった。しかしながら、1603 年のスコットランドとイングランドの同君連合以降、南部の市場で牛の需要が増大し始めた。

牛の取引量が増大するにつれ、売り手と買い手両方にとって便利な中間の場所で取引を集中した方が便利になった。クリーフはこれらの要件を満たし、18 世紀初めから中ごろまで、スコットランドで最大の牛市場として理想的な場所であった。クリーフはハイランドへの入口であり、しかもスコットランドでもっとも豊かで人口の多い地域の北端にあった。

スコットランドにおいて主な牛の取引場はトライスト *tryst* と呼ばれる。スコットランド語でトライストとは売り手と買い手の合意によって定められた市場を意味する。クリーフのトライストでは 1723 年まで、年 3 万頭の牛が売買された。多くの牛は引き続きハイランドの牛追い人によってイングランドまで南下輸送された。1700 年代の後期には牛の価格が高くなって、イングランド人ディーラーが直接北部までやってくるようになり、結果的に主たる牛の取引はクリーフからさらに南のフォルカークに移った。1770 年以降はフォルカーク・トライストがスコットランドの牛売買で優位を占めるようになった。クリーフのトライストの時代は終わるが、一方フォルカークの牛売買は 20 世紀初頭まで続いた（これにちなんだダンスがイアン・ボイド作、Book 36 の *The Trysting Place*）。



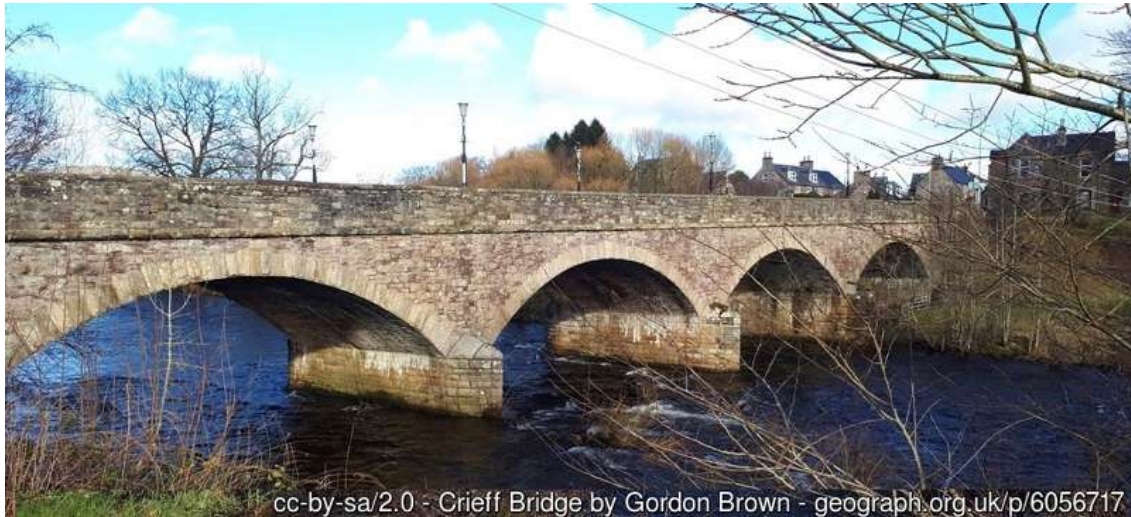
クリーフの土曜日



クリーフのドラモンド・アームズ

トライストは牛の取引に限るものではなかった。町に住む人たちの娯楽の場でもあり、クリーフ・トライストについて次のような記述がある。

「六、七十のテント屋台が火酒を売り、テントの端には明るい火が燃え、さかんに料理が作られている。かなりの量のブロス（穀物入りスープ）が作られるが、すぐになくなってしまう。人々の多くはテント屋台に金を使うが、牛の取引人、漁師、牛追い人、競売人、行商人、大道芸人、ばくち打ち、果物売り、流しの歌手、乞食にもみくちやにされる。部分的にペンキを塗ったテントのほとんどには、何とも言えない騒ぎが広がっている。」



cc-by-sa/2.0 - Crieff Bridge by Gordon Brown - geograph.org.uk/p/6056717

クリーフ・ブリッジ

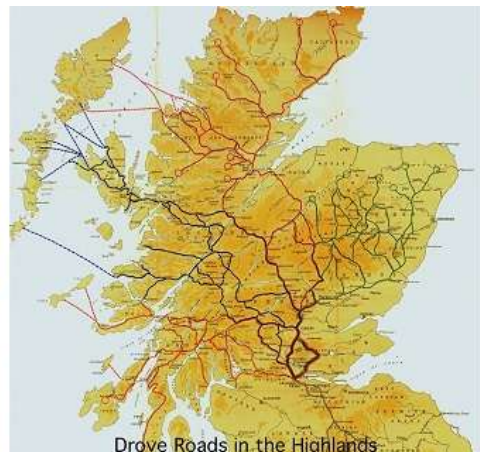
牛追い

ハイランドは穀物栽培よりも牧畜に適しており、収入を得るため余剰の牛が売却対象となっていた。これを可能にしたのが牛追い人（ドローバー）である。牛追いは安全面に保障がなく、熟練を要する仕事であり、牛追い人は毎年夏と秋に数千頭の牛を取引場まで移動させるという危険な長い道のりをたどった。牛は荒野を1日に10から15マイル移動した。



Bealach na ba. The Pass of the Cattle
Stefan Krause, Germany / FAL

牛街道の峠道



Drove Roads in the Highlands

ハイランドの牛街道

牛街道は普通の道ではなく、牛追い専用のルートであった。牛追い人たちはできる限り、餌となる草が無料で開放された丘を越えていった。牛街道は各島から本土最北部まで、北スコットランド全土をカバーしていた。距離のある海は船で渡ったが、短距離では牛は泳いで海を渡った。もっとも興味をひく渡海地点の1つが、スカイ島と本土の間のカイル・リー-Kyle Rheaである。幅はわずか500mであるが強い潮流があつて渡海は簡単ではなく、牛を安全に泳ぎ渡らせるには非常に大きな熟練を要するところである。19世紀の初期には、ここを毎年7千頭の牛が泳いで渡ったという。



The Kyle Rhea - cattle crossing point from Skye
Nick R / Kyle Rhea and the ferry



スカイ島の渡海地点カイル・リー

ハイランドの牛

取引場で売却される牛は黒牛として知られ、現在のハイランド牛の祖先であった。英国の品種の中でもユニークであり、長年にわたって変異がなく、おそらくケルト時代からの牛の子孫である。最初のハード・ブック Herd Book（血統記録書）はハイランド牛を2つの種類に分けている。黒毛小形のアイランド種と、大型の灰褐色の本土種である。1885年にそれぞれ独立品種として登録された。赤毛/茶毛のほうが主要な種であると思われており、今ではこれがより一般的になっている。ハイランド牛は世界で最古の血統記録を持つ牛であり、ハイランド牛の群れは「囲い fold」と呼ばれている。この名前は冬の飼育用に用いられる開放型の保護施設からきている。



アイランド種



本土種

ハイランド牛は丈夫でおとなしい品種で、寒さを防ぐ長い毛をまとい、他のほとんどの国内牛ではむりな条件下でも繁殖できる。彼らは急な山岳地帯の草の放牧に適しており、ほかの牛は食べない植物も食べることができる。

いま、ハイランド牛は魅力的な写真対象としてよく知られており、群れでいっぱいの野山はカメラを持つ観光客を大勢ひきつけている。

クリーフとパース公爵 Duke of Perth とのつながり

クリーフの発展時、地域に影響を与えた家族の1つがドラモンド家であった。15世紀の終わりにサー・ジョン・ドラモンドはクリーフの南にドラモンド城を建てた。1605年にドラモンド家はパース伯爵 Earl of Perth の名を与えられた。

1672年の議会令はクリーフにとって大きなきっかけになった。第4代パース伯爵、ジェームズ・ドラモンドに年に1度の交易市および毎週の市場開催の権限が与えられ、クリーフ・トライストの立上げの誘因になったのである。1685年、第4代伯爵はローマ・カトリックに改宗した。1688年にオレンジ公ウィリアムとその妻メリー（ジェームズ7世の娘）によるプロテスタントの攻勢（名誉革命）に直面し、ジェームズ7世が英国から逃れたとき、第4代伯爵は脅威を感じた。彼は脱出を試みたが捕えられ、1693年8月までスターリング城に投獄された。釈放の条件はスコットランドからの追放であった。



ドラモンド城

彼は亡命したジェームズ7世とフランスにおいて手を組み、その忠誠心をたたえられて1701年にジェームズ7世からパース公爵 Duke of Perth の称号を与えられた。これはジャコバイト派としてのもので、公式の英国の称号ではない。パース伯爵の公式称号もまた、彼の息子が1715年のジャコバイト蜂起を支持したことで剥奪された。ジャコバイト派におけるパース公爵の名は1853年まで続き、その年、ジョージ・ドラモンドが第5代パース伯爵（ジャコバイトでは第11代パース公爵）の名を回復した。

したがって、私たちを象徴する有名なダンス、Book 1 の *Duke of Perth* は、ジャコバイト派を支持する公爵にちなんで亡命君主が作ったもので、パース伯爵 Earl of Perth はいたが、今日パース公爵 Duke of Perth はスコットランドを含む連合王国には公式には存在しない！

スコットランドの歴史で、この日は from Dance Scottish at Home, Issue 21, 4/9/2020

今号は220年前からの9月の最初の5日間の出来事を述べる。



1971年9月1日（銀座でマクドナルド1号店が開店した昭和46年）- グラスゴーの最後のガス街路灯が点灯し、そして電灯に置き換えられた。ランプライター、または「リーリーLeerie」として知られていた点灯人は、150年以上にわたってグラスゴーの街で見慣れた光景であり、長いはしごや点火竿を使ってガス灯からガス灯へと駆け回っていた。

ロバート・ルイス・スティーブンソンは、1885年に彼の詩集「A Child's Garden of Verses」に彼の詩「The Lamplighter」を発表した。

私たちは非常に幸運で、ドアの前にランプがあり、
リーリーはたくさんのガス灯を点灯し、そして消してゆく
梯子を担ぎ、小さな子どもを見る
今夜リーリーに会釈を

グラスゴーにおける街路灯は、1780年に裕福な商人街の中心部に、9つの石油灯が設置されたのが始まりである。1815年までにランプの数は1,274個に増加した。その後、1818年にガス灯、1893年には白熱電灯が導入され、1914年までに19,437個のガス灯と1,541個の白熱電灯が設置された。しかし、電気が普及するにつれて、ガス灯はだんだんと消えていった。

1971年9月1日に市長ドナルド・リドル卿によって最後に残ったガス街路灯が点灯され、356年（原文どおり）にわたり明かりをともしてしてきた点灯人12人がこれを見守った。（銀座のガス灯は火災予防のため1914年に廃止された。）

1834年9月2日（大飢饉が始まった天保5年。大塩平八郎の乱は3年後） - トマス・テルフォードが死去。DSAHの各号を通じて、土木技師、建築家、道路、橋、運河の建設家が述べられている。死ぬまでに、テルフォードは1,600 km以上の道路、1,000以上の橋、無数の運河、教会、港を建設し、道路排水を管理するシステムを設計し、土木技術学会の初代会長であった。ここで触れるのは彼の仕事の断片でしかないが、彼の専門知識は非常に有名だったため、世界中の人々が主要な土木プロジェクトについて彼の意見を求めた。国民の尊敬のしるしとして、トマス・テルフォードはウェストミンスター寺院に埋葬された。



トマス・テルフォードが手掛けた建築群

1918 年 9 月 3 日（富山県魚津で米騒動が起こった大正 7 年） - マーガレット・トッドが死去。1859 年にファイフで生まれたマーガレット・トッドは、1866 年にソフィア・ジェックス・ブレイク女史によって設立された、エジンバラ女子医科大学の最初の生徒の 1 人だった。マーガレットは、ロンドン女子医科大学の学生を描いた 3 巻の小説「モナ・マククリーン、医学生」の著者で、彼女はこれをグレアム・トレバースというペンネームで出版した。非常に人気のあった本で、1900 年までに 15 版が出版された。

彼女の執筆と医療活動は密接に関連しており、エジンバラ婦人・小児病院で医療助手として働きながら、小説や短編小説を書き続けた。1913 年、マーガレット・トッドは、原子番号が同じで、質量数が異なる元素の原子を表すために「アイソトープ、同位体」という用語を提案したことで科学的に認められた。

ソフィア・ジェックス・ブレイクの退職後、マーガレットはソフィアと一緒にロザーフィールドに引っ越した。ソフィアの死から 6 年後の 1918 年、トッドは彼女の伝記「ソフィア・ジェックス・ブレイク博士の生涯」を出版した。しかし、そのわずか 3 ヶ月後、トッド自身が亡くなった。



1964 年 9 月 4 日（東京オリンピック、新幹線開通、海外旅行解禁の昭和 39 年） - フォース道路橋が RSCDS のパトロンである女王陛下臨席のもとで開通した。当時、この橋は世界で 4 番目に長く、米国外では最長であり、最も重要な長スパンの吊り橋の 1 つだった。



橋の最初のアイデアは 1923 年に明らかにされたが、場所が合意されたのは第 2 次世界大戦の終結後であった。最終的な工費は 1,950 万ポンドで、これは英国でこの種の橋の最初であった。1990 年には 2 つの主塔と斜向十字桁、1996 年には主塔基部の腐食を防止する改良工事が行われ、1998 年と 2000 年にはさらに強化された。しかし、橋は 21 世紀初頭に塩害による著しい劣化の兆候を示した。橋の架け替えプロセスは 2006 年に始まり、2017 年 8 月 30 日に開通したクイーンズフェリー・クロッシングとなった。これはフォース湾を横切る 5 番目の橋である。道路橋はトラフィック・コーン（道路円錐標識）の本拠地となっている。

1750 年 9 月 5 日（葛屋重三郎が生まれた延享 7 年） - スコットランドの詩人ロバート・ファークソンがエジンバラの旧市街で生まれた。エジンバラで学業を始めたファークソンは、ダンディーのグラマースクールの奨学金を得て、セント・アンドルーズで研究生生活を開始した。しかし、1767 年に父が亡くなると、ロバートは家族を支えるためにエジンバラに戻り、司教代理の書写係として働いた。



彼の情熱は詩作にあり、短い生涯の中で彼はスコットランド語と英語の両方で約 100 の詩を書いた。実際、ファークソンの詩「ダフト・デイズ」は、ウィークリー・マガジン誌に掲載された最初のスコットランド語の作品だった。彼の最も評価の高い作品は、1773 年に書かれた 300 行の詩「オールド・リーキー」（Auld Reikie、エジンバラを表す古い愛称）で、読者をエジンバラの生活の一日に連れて行き、その栄光と衰退、美しさと貧困のすべてを示すと言われている。バーンズの先駆者であり、スコットランドで最も独創的な詩人の一人と見なされているファークソンは、1774 年 10 月に

24 歳で亡くなった。

これらの輝かしい詩人たちを 20 世紀のスターに例えるなら、ロバート・バーンズがエルビス・プレスリーだとすれば、生と死を急ぎすぎたロバート・ファークソンはジェームズ・ディーンだったと言われている。

Book 54 ダンスのあれこれ Tom Toriyama

すべてのダンスについて SCD Database にビデオがある。

1. The Yorkshire Rose (J32 3C/4C)

チェシャーのトリッシュ・リードがウィン・バーカーの 90 歳の誕生日を記念して 2012 年に作った。ウィンは 19 歳で英空軍の女子支援隊に入り、1946 年まで爆撃航空団の電話交換手として勤めた。1979 年にチェシャーに移るまでヨークで暮らした。タイトルはヨーク家の白バラにちなんでいる。ダンスの 2 回目の終わりに 1C と新しい 3C は互いに回り込んで位置を交換する。

2. Dancing Forth (R32 3C/4C)

Forth フォースはエジンバラの外湾で、「前方へ」の意味もある。エジンバラの大御所、故ボブ・グラントの踊り。同名のオリジナル曲はボブの片腕であったドリーン・マッケロンが作曲した。コーナーとの両手ターンはエジンバラ・スタイルの skip change を使う。

3. Dancing in Perthshire (S32 Square)

パースシャーの曲がりくねった道を表すのが最初の 16 小節、次の 8 小節はダンスで知り合った人はみな親切、最後はダンスをみな楽しんでたというスクエアである。パース&パースシャーのジャネット・マクドナルドの作。オリジナル曲はかつて RSCDS で音楽監督をつとめたモー・ラザフォード（モーはモーリーンの愛称）の作曲。女性はパートナーは変われど 4 回とも最初の位置にいる。

4. Mark and Susie's Jig (J32 3C/4C)

bar 16 で 2C は方向を変えてスムーズに lead down に入れ、また 2, 4, 6 回目の poussette は 1:2 でやれと指示がある。フォーファーのジョージ・ワット（コロナの時期、1 年にわたりオンライン・クラスを続けた）がマーク・ハガーとスージー・グリーブスのカップルのために作ったダンス。

5. Miss Lucy Clark (R32 3C/4C)

ロンドンのバレリー・ファークによるリールだが、このダンスを本部に提出したのはハートフォードシャー&ボーダーズ・ブランチ。よって裏表紙には Herts & Borders が載っている。ルーシー・クラークは 1954 年にバッキンガムシャーで SCD クラスを始め、アコーディオンを弾きながら指導した。13 年以上にわたり 160 回の生バンドによるダンス会を開催した。bar 13 で 1C が cross up するのが注意するところか。

6. Tullynessle and Forbes Hall (S32 3C/3C)

アバディーン以西 50 km にある人口 600 人のトリネッスル&フォーブス村の集会ホールは、村人たちがセメントをこねるなど手造りで 1954 年に完成した。年を経て改修と増築が必要となり、50 万ポンド（1 億円）の資金を集めて 2005 年に改築された。その改築の会議から、設計、完成までをダンスで表したとのこと。既存のフォーメーションの組み合わせである。



7. A Tribute to West Renfrewshire (J40 4C/4C)

ウェスト・レンフルーシャーはグラスゴーの南にある地方、同ブランチは 2025 年に 100 年を迎えた。作者のベラ・マッキニー（旧姓ロス）はブランチ 80 年目にあたる 2005 年にこのダンスを作った。bars 9 - 16 は 1C と 2C の reel of three で '8'、3C と 4C の hands round で '0'、つまり 80 を表し、17-32 は聖アンドルーズ十字架を示している。

8. A Hundred Years Since (R32 3C/4C)

タイトルは「あれから 100 年」の意味になるうか。「ダンス名のうしろにあるもの」の原作者ピーター・ナップマンの作。Book 1 の最初のダンスの最初の動き、そして Book 52 の最後のダンスの最後の動きをこのダンスに取り入れた、とある。bars 1-8 の petronella は skip change で、これは古い資料の chassé round シャッセ・ラウンドから採り入れたという。

9. Kinclaven Bridge (S32 4C/4C)

キンクレブレン橋はティ川中流にかかっており、1981 年に B 級建築物（日本の重要文化財に相当？）に指定された。最初の 8 小節が橋のアーチを示している。ダンディーのダグラス・ヘンダーソンの作で Book 53 の Baldovan Reel に続いてのダンス採用である。説明では、bars 24 で 1W と 3W、および 2M と 4M は右肩をうしろに引いて ready for reels になれといているが、これが案外むずかしい。デモビデオでも 1W と 3W は左肩をうしろに引いている。bars 25-32 は、女性は left shoulder、男性は right



shoulder のミラーのリールである。

10. Donna's Dancing Shoes (R32 3C/4C)

オーストラリア・ブリスベンで沢山のダンスを作った故フランシス・ウォルダックのリール。西オーストラリア・パース在のドナ・リンとジョン・ボイルの結婚を祝して 2014 年に作られた。デモビデオもパースの連中が踊っている。bar 12 の終わりは 3 カップルとも 2nd place のライン。ただし一直線ではなくすこしずれる。bar 24 で 1C は polite turn する。

11. Kathy's Fascinator (J32 3C/3C)

カナダ・ノバスコシアのリディア・ヘッジの作。fascinator の読みはファサネータであるが、日本ではファシネーターであろう。針編みないしレース製の頭に巻くスカーフのことである。キャシー・ウォーレンはアバディーン生まれ。アルバータ州に移り、その後ノバスコシアにやってきた。キャシーは 2020 年に亡くなり、リディアが追悼の意味でこのダンスを作った。あっという間に終わるダンスである。

12. The Darlington Dancer (S40 + R40 4C/4C)

男女役が入れ替わるダンスを作っている西オーストラリア・パースのジョン・ブレンチリーの作。デモビデオでも彼は 1M として踊っている。イングランドのダーリントンから移住してきたパット・ステイーブンソンの誕生日のために書かれたメドレーである。近年のジェンダー・ニュートラルを先取りしているダンスともいえる。ちなみに、サマースクール・クラスでセットに女どうし・男どうしのカップルがいても、講師はそれを男女に組み直す指示は一切しなかった。1/2 reels of four のあと、右手で 1-1/4 turns という動きが 2 回出てくるが、これを正確にやればセットは壊れずにすむ。

13. The Waternish Tangle (J32 3C/4C)

Waternish はスカイ島にある半島の名。現地ではヴァターニッシュと発音するが、ウォーターニッシュでよいと講師マービン・ショートは言っていた。タングルはねじれを意味し、作者アンドレア・バーフットは、強風で洗濯物がねじれたのをタイトルにしている。このダンスには珍しく Targe がある。bars 12 で 1W は polite turn 不要。

14. A Driving Reel (R32 Triangle)

シアトルのリジー・ラトゥンが作った三角セットのリール。車のドライブではなく、建物の基礎パイルを地面から打ち込むディーゼルハンマー（騒音・振動・排ガスのため日本では使われていない）の動きをヒントに作ったという。bars 9-12 の動きは古風にいえば三ツ矢サイダーのロゴである。Schiehallion reel ができればすぐに踊れる。

15. Thank You Patricia (S32 3C/4C)

毎年 2 月に行われるニューカッスル・フェスティバルを始めたのがジョン・カス（The Festival Man (Book 48)、John Cass (Book 49) もジョンを称えたダンス）で、彼の奥さんがパトリシア。ダンスを作ったのは本部青少年委員長のデブ・リーズである。bars 3-4 の petronella はカーブを描くように、また bar 8 で 1C は 1st corners を結ぶ線上にいる。いずれもマービン・ショートの言である。説明にあるとおり bar 16 で 1W は curving round して facing up。

16. The Tea Pottery (J96 Square)



長尺および／または高難度のため、講習会で一度踊ったきり、その後まったく踊られていないダンスを、私は横須賀ストー

リー・ダンスと呼んでいる。エクセターのダンカン・ブラウン作のこの踊りも横須賀ストーリー・ダンスの類である。デモビデオで1Mを踊っているのがダンカンで、サマースクール2025第3週のティーチャーでもある。ボービー・トレーシーの町は1750年代から200年陶器を作り続け、その紅茶用陶磁器は有名であったが、宅地化が進み今は生産していないという。Part A, B, Cそれぞれ32小節ずつ指導すればよいが、その時間があるなら他のダンスをやりたい、とクラスは言うかもしれない。Part Cのbars 9-16はサークルで行なうKnotである。説明と指導に30分、踊りは1分53秒と、病院の診察のようなダンスである。

17. Canadian Landscape (S32 3C/3C)

カナダの大光景。Tourbillon, Set and link three, Espagnoleを組み合わせたストラスペイで、オンタリオ州ロンドンのカレン&スコット・マクローン夫妻 2017年の作。タイトルの頭

文字をつなげるとCLとなるが、これはローマ数字で150を表し、2017年のカナダ成立150年を祝うとある。踊りの内容は、太平洋岸から始まり、ロッキーを越え、大平原を横切り、先カンブリア紀のたくさんの湖を巡り、大西洋に達するさまをダンスにしたという。

18. Merry Mayhem (R32 3C/4C)

カナダ・オンタリオ州セント・カサリンズのホーン喜美子さんの2019年の作。セーラ・ポーゼンが小学校でSCDを教えるとき、merry mayhem メリー・メイヘム（陽気な大騒ぎ）の精神でやっているのをタイトルにした。bars 17-24の1/2 diagonal reel of four はまず3rd cornersと、次いで4th cornersとやる。オリジナル曲は喜美子さんの義理の息子のチャールズ・コージンスが作曲した。

最近の本部ニュース

- ▷来年2026年の本部会費の1ポンド値上げが今秋の年次総会で提案される。
- ▷サマースクールに585人の参加申込があった。
- ▷Book 54に大きな数の注文あり。
- ▷2026年4月/5月に*International Day of Danceを開催する。CDも発売される。

*International Dance Day（国際ダンスデイ）のことだと思う。国際ダンスデイは、ユネスコの演劇・ダンス部門を担当するInternational Theatre Institute（国際演劇協会）が世界の政府や政治家に対してダンスの重要性や価値を表明することを目的として実施する国際的な祭典。近代バレエの父といわれるジャン＝ジョルジュ・ノベール Jean=Georges Noverre (1727-1810) の誕生日である4月29日に1982年から毎年開催されている。

9月～10月 ブランチニュースは休みます

9月～10月のブランチニュース、ブランチレターの発行はなく、次回発行は11月下旬になります。この間のお知らせはブランチホームページ

[rscds 東京ブランチ](#) [検索](#)をご覧ください。

お問い合わせ、ブランチ活動やレターに関するご意見・ご感想など、遠慮なくセクレタリ西森典子までお寄せください。グループちらしの配布依頼も西森あてにお願いします。